

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 国語科】 担当：高須 宏明

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	○朝のリレー ○野原はうたう	詩の特徴を生かして音読する。 四つの詩の作者である生き物になったつもりで、情景や心情を想像しながら音読する。	知・技(1)ア	知・技 主体的態度	音読の仕方を工夫しながら音読している。 音読の仕方を工夫しながら音読している。 作品の特徴や語句の意味を捉え、自分なりの考えをまとめている。	定期考査 ノート 授業観察
		○声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	音読・発表の仕方・ノートの取り方について学び、小学校との違いを理解する。	知・技(1)ア 知・技(2)イ・(3)オ 思・判・表B(1)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	国語の学習で行う音読・発表・ノートの取り方などを学び身につけようとしている。	授業観察
		1 学びをひらく ○シンシユン	主人公の気持ちがわかる様子や行動、会話を押さえ、そこに表現された気持ちを考える。	知・技(1)ウ 思・判・表C(1)イ(2)イ	知・技 思・判・表 主体的態度	情景描写に着目し、登場人物の変化を捉えている。	定期考査 授業観察 ノート
	5 月	○情報整理のレッスン 情報を整理して書く 分かりますように説明する	書く観点を決め、情報を整理する。 わかりやすく伝えるための構成を考え、短い文や言葉でメモを書く。	知・技(1)ウ・(2)イ 思・判・表A(1)ア・エ 思・判・表A(2)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	身近な生活の中から目的や相手に応じた情報を集め、観点を決めて整理して分かりやすい文章を書いている。	ワークシート 授業観察 ノート
		○漢字の組み立てと部首	偏旁冠脚と部首の種類を理解する。	知・技(1)イ	知・技 主体的態度	漢字の組み立てと部首について理解し、既習の漢字を調べている。	定期考査 ワークシート
		2 新しい視点で ○ダイコンは大きな根？	問いを投げかけている段落と、それに対する「答え」を示している段落を探す。また、それ以外の段落がどんな役割をもっているのか考える。	知・技(2)イ 思・判・表C(1)ア 思・判・表A(2)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	問題提起の段落や、根拠を述べている段落など、段落の役割の違いに気付き、筆者の工夫を理解している。	定期考査 ワークシート 授業観察 ノート
	6 月	○ちょっと立ち止まって	本文を三つのまとまりに分け、それぞれのまとまりの内容を捉える。	知・技(2)ア 思・判・表C(1)ア 思・判・表A(2)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	文章と図の関連や段落の効果を捉えて、内容を理解している。	定期考査 ワークシート 授業観察 ノート
		○思考のレッスン 1 意見と根拠	意見の根拠を確認することの大切さを理解することができる。	知・技(2)ア 思・判・表C(1)ア	知・技 主体的態度	見たり、聞いたりした内容を分類し、整理して記録している。	ワークシート 授業観察 ノート
		○「好きなこと」をスピーチ で紹介しよう	聞き手がわかりやすいように、話の構成や順序を考える。	知・技(1)ア 思・判・表A(1)ア・イ	知・技 思・判・表 主体的態度	「スピーチの例」の構成を基に、自分の思いや考えを、聞き手に伝わるように話している。	ワークシート 授業観察
		○言葉のまとまりを考えよう	文法の定義や性質を確認する。 段落に着目して読むことで、文章の内容や構成がつかみやすくなることを理解する。	知・技(1)エ	知・技 主体的態度	文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて整理した内容を理解している。	定期考査 ワークブック 授業観察 ノート
		情報化社会を生きる 情報を集めよう	自分が設定したテーマについて、さまざまな方法を用いて調べる。	知・技(2)イ 思・判・表B(1)ア 思・判・表C(1)ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	本やインターネットを用いて情報を集めて読み取り、テーマに対して必要な情報を選択している。	ワークシート 授業観察
	7 月	3 言葉に立ち止まる ○詩の世界	既習の詩を思い出し、それに込められた作者の思いなどを理解する。	知・技(1)ウ・オ 思・判・表B(1)ウ 思・判・表C(1)エ	知・技 思・判・表 主体的態度	詩の情景を想像しながら朗読している。	定期考査 ワークシート 授業観察 ノート
		○比喩で広がる言葉の世界	比喩について理解し、言葉について考えたことをまとめる。	知・技(1)オ 思・判・表C(1)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	比喩などの表現技法を理解して使っている。	ワークシート 授業観察 ノート

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 国語科】 担当：高須 宏明

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	7月 ○言葉を集めよう	例文を参考に、100字程度で好きな食べ物について紹介文を書く。	知・技（1）ウ	知・技 主体的態度	例文の観点を参考に、多くの言葉を集めて、好きな食べ物の紹介文を書いている。	ワークシート 授業観察
	7月 ○読書を楽しむ 本の中の中学生	これまでに読んだ本の中から一冊を選び、引用する部分を考えて、ポップ・紹介箱・スピーチのいずれかの方法で紹介する。	知・技（3）オ 思・判・表C（1）オ	知・技 思・判・表 主体的態度	作品に書かれているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くしている。	ワークシート 授業観察
2 学期	9月 4 心の動き ○大人になれなかった弟たちに……	作品の描写を読み取り、登場人物の気持ちを考える。作品に描かれた時代を考えながら、「大人になれなかった弟たちに……」という題名のもつ意味について話し合い命の大切さを考える。	知・技（3）オ 思・判・表C（1）イ 思・判・表C（2）イ	知・技 思・判・表 主体的態度	情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み取っている。	定期考査 ワークシート 授業観察 ノート
	9月 ○星の花が降るころに	場面の展開に沿って、「私」の気持ちの変化とその理由を整理する。	知・技（1）オ 思・判・表C（1）ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	情景描写に着目し、登場人物の心情の変化を捉えている。	定期考査 ワークシート 授業観察
	○聞き上手になろう	「絞る質問」「広げる質問」をみにつけ対話の練習を行う。	思・判・表A（1）エ	思・判・表 主体的態度	相手のスピーチに耳をかたむけ、質問の仕方を工夫することができている。	ワークシート 授業観察
	10月 ○方言と共通語	方言と共通語の特徴や役割について考える。	知・技（3）ウ	知・技 主体的態度	方言や共通語の果たす役割について理解することができる。	ワークシート 授業観察 ノート
	10月 ○漢字の音訓	導入の例を基に漢字には「音」と「訓」があることを理解する。	知・技（1）ア	知・技 主体的態度	例の漢字を基に、漢字の音・訓について理解し、既習の漢字においても音・訓について調べ、語彙を広げている。	定期考査 ワークブック 授業観察
	10月 5 筋道を立てて ○「言葉」をもつ鳥シジュウカラ	記録の文章を読み、理解したことや考えたこと、うい報告したり文章にまとめたりする。	知・技（2）ア 思・判・表C（1）エ	知・技 思・判・表 主体的態度	筆者の意見とそれを支える根拠との関係を掴むことができている。	定期考査 ワークシート 授業観察
	○根拠を示して説明しよう	根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わるよう工夫して文章を書く。	知・技（2）イ 思・判・表B（1）イ・ウ 思・判・表B（2）ア	知・技 思・判・表 主体的態度	根拠が明確になるように段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えて文章を書くことができる。	ワークシート 授業観察
	○漢字に親しもう3	小学校で学んだ漢字のうち三百字までの学習の確認を行う。	知・技（1）ア	知・技 主体的態度	小学校で学んだ漢字を文章中で使うことができる。	定期考査 ワークシート
	11月 ○話題や展開をとらえて話し合おう	話し合いの題材を決め、グループごとに話し合いを行い、その結果を報告する。	知・技（2）ア 思・判・表A（1）オ	知・技 思・判・表 主体的態度	話題や展開をとらえながら話し合い、互いの発言をむすびつけて考えをまとめることができている。	ワークシート 授業観察 ノート
	11月 ○大阿蘇	言葉のリズムや響きを大切にしながら朗読する。	知・技（1）ウ 思・判・表C（1）エ	知・技 思・判・表 主体的態度	すすんで表現の効果について考え、今までの学習を活かして音読しようとしている。	音読テスト 授業観察
	6 いにしえの心にふれる ○音読を楽しもう いろは歌	「いろは歌」を仮名遣いに注意して音読する。	知・技（3）ア	知・技 主体的態度	「いろは歌」を音読し、現代語訳を参考に内容に親しんでいる。	定期考査 授業観察 ノート
	○蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から	仮名遣いに注意しながら音読し、古典のリズムを通して、その世界に親しむ。	知・技（3）ア 思・判・表C（1）イ	知・技 思・判・表 主体的態度	「蓬萊の玉の枝」を音読し、描かれている古典の世界を想像している。	定期考査 ノート 授業観察

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 国語科】 担当：高須 宏明

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	1 1 月	○今に生きる言葉	調べた故事成語を使って自分の体験について短い文章を書く。	知・技(3)ア 思・判・表B(1)イ 思・判・表C(1)オ	知・技 思・判・表 主体的態度	調べた故事成語の中から、自分の体験に関連するものを選び、体験文を書いている。	定期考査 ワークシート 授業観察
	1 2 月	7 価値を見いだす ○「不便」の価値を見つめ直す	説明の文章を読み、理解したことや考えたことをまとめたり、人に伝えたりする。	知・技(2)ア・イ 思・判・表B(1)ウ 思・判・表C(1)ウ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	文章を読んで理解したことにもとづいて、自分の考えを確かなものになっている。	定期考査 ワークシート 授業観察
		○助言を自分の文章に生かそう	根拠の舞格差などについて読み手からの助言を踏まえ自分の文章の良い点や改善点を見出し、文章の推敲を行う。	知・技(3)オ 思・判・表B(1)オ 思・判・表B(2)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	読み手からの助言を踏まえて自分の書いた書評の良い点や改善点を見つけることができる。	ワークシート 授業観察
		○漢字に親しもう4	小学校で学んだ漢字のうち四百字までの学習の確認を行う。	知・技(1)イ	知・技 主体的態度	小学校で学んだ漢字を文章中で使うことができる。	ワークシート
		○言葉の関係を考えよう	文の成分の役割について理解する。	知・技(1)エ	知・技 主体的態度	言葉の類別について理解することができる。	定期考査 ワークブック
		読書に親しむ 君たちはどう生きるか／ 楽しい節約	読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。	知・技(3)オ 思・判・表C(1)オ 思・判・表C(2)ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	読書の意義を考え、自分の考えを広げることができる。	定期考査 ワークシート 授業観察
3 学期	1 月	8 自分を見つめる ○少年の日の思い出	「僕」の「エーミール」に対する気持ちが表現されている部分に着目して、「僕」の考えを捉える。最後に収集したちょうを潰す「僕」の行動と心情を捉える。	知・技(1)ウ 思・判・表B(1)イ 思・判・表C(1)エ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えている。	定期考査 ワークシート 授業観察 ノート
		○単語の性質を見つけよう	単語の分類を理解する。	知・技(1)エ	知・技 主体的態度	単語の類別や役割について理解することができる。	定期考査 ワークシート 授業観察
		○随筆二編	場面の展開や描写を基に、筆者の考えや思いをとらえる。	知・技(1)ウ 思・判・表C(1)ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いをとらえることができる。	定期考査 ワークシート 授業観察
	2 月	○構成や描写を工夫して書こう	書く内容の中心が明確になるように、恒星や描写を考えて書く。	知・技(1)ウ 思・判・表B(1)イ・ウ 思・判・表B(2)ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	書く内容の中心が明確になるように段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	ワークシート 授業観察 ノート
		○さまざまな表現方法	「言葉の並べ方の工夫」を読み、表現技法によるリズムの違いや効果について考える。	知・技(1)オ	知・技 主体的態度	言葉の並べ方の工夫や比喩について、それぞれの表現上の特徴などを理解している。	ワークシート 授業観察 ノート
		○漢字の成り立ち	「象形」「指事」「会意」「形声」を用例と共に確認する。	知・技(1)ア	知・技 主体的態度	漢字の成り立ちについて理解し、練習問題の漢字を分類している。	定期考査 ワークシート 授業観察
	3 月	振り返り ○一年間の学びを振り返ろう	一年間の学びを振り返り心に残ったことをフリップにまとめ発表する。	知・技(2)イ 思・判・表A(1)ウ 思・判・表B(1)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	1年間の国語学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめている。	ワークシート 授業観察 ノート
		○さくらの はなびら	詩の中で心に残ったこと言葉や表現を抜き出し、理由をまとめる。	知・技(1)オ 思・判・表C(1)オ 思・判・表C(2)イ	知・技 思・判・表 主体的態度	作品の中の語句の意味や表現の特徴を捉え、自分の考えをもっている。	ワークシート 授業観察 ノート

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 社会科】 担当：崎 涼太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月 地理 第1編 世界と日本の姿 第1章 世界の姿 1 地球の姿をみてみよう 2 世界のさまざまな国々	世界の大陸と海洋、世界の国々に対する関心を高め、位置や名称、人口や面積を調べながら世界地図の活用の仕方を身につける。また、世界の国々や世界遺産に対する関心を高め、自ら調べようとする態度を育む。	世界と日本の地域構成 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	世界の大陸と海洋に対する理解を高め、位置や名称、世界地図で調べることができる。また、世界の国々や世界遺産について意欲的に調べ、世界の国々に対する理解を深めている。	単元小テスト ノートの記述 レポート課題
	5 月 第1章 世界の姿 3 地球上の位置を表そう 4 地球儀と世界地図とを比べてみよう 第2章 日本の姿 1 日本の位置 2 日本と世界の時差 3 日本の領域の特色 4 北方領土・竹島と尖閣諸島 5 日本の都道府県	地球儀や世界地図の基礎知識を学ぶ。特に、緯度と経度によって、地球上の様々な場所の位置を表す知識と技能を身に付ける。 日本の姿を、緯度や経度における日本の位置、世界との時差、領域の特色、近隣諸国との領土問題などから考察する。また、日本の都道府県と都道府県庁所在地の名称と位置について理解する。	世界と日本の地域構成 ア イ 世界と日本の地域構成 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	世界を構成する大陸と海洋の分布、緯度と経度による位置関係、世界の地域区分、主な国々の名称と位置などに対する関心を高め、それを意欲的に調べ、理解を深めようとしている。 世界と日本とを比べるなど、その関わりについて考察し、世界の中の日本として、自国の姿を理解している。また、日本の地域構成として47都道府県や都道府県庁所在地の位置と名称を理解している。	定期考査 単元小テスト ノートの記述 レポート課題
	6 月 地理 第2編 世界のさまざまな地域 第1章 世界各地の人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州	人々の生活と環境との関わりや、さまざまな条件下で多様な生活を営んでいることを理解するとともに、異なる文化を尊重する態度を身に付ける。 アジア州の自然環境や、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。	世界の様々な地域 世界各地の人々の生活と環境 ア イ 世界の諸地域 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	世界各地の人々の多様な生活の営みや、異なる文化の存在を尊重する態度を身に付けている。 アジア州について、急速に発展する国々の様子を理解するとともに、その過程において生じた各国の課題や問題について理解している。	定期考査 単元小テスト レポート課題 ノート（プリント）の記述 調べ学習 レポート課題
	7 月 地理 第2章 世界の諸地域 第2節 ヨーロッパ州 第3節 アフリカ州	ヨーロッパ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。 アフリカ州の地域的特色を理解するために、「特定の生産品に頼る生活からの変化」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する。	世界の様々な地域 世界の諸地域 ア イ 世界の諸地域 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	ヨーロッパ州について、小国が多いこと、地域により異なる農業が盛んなこと、世界経済における地位が低下してきた様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 アフリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、アフリカ州が生産物の開発や輸出のための技術を外国に頼っていることに関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究している。	単元小テスト ノートの記述 レポート課題

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 社会科】 担当：崎 涼太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	地理 第2章 世界の諸地域 第4節 北アメリカ州 第5節 南アメリカ州	北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。 南アメリカ州の地域的特色を理解するために、「開発の進展と環境問題」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究する。	世界の諸地域 ア イ 世界の諸地域 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	北アメリカ州について、大陸と島々からなる自然環境、新しい文化、産業と経済の地域差などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 南アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に開発の進展と環境問題に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究している。	定期考査 単元小テスト ノートの記述 レポート課題
	10 月	地理 第2章 世界の諸地域 第6節 オセアニア州 歴史 第1章 歴史の流れをとらえよう	オセアニア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。 日本の歴史の移り変わりに気付き、年代の表し方や時代区分についての基本的なことがらを理解する	世界の様々な地域 世界の諸地域 ア イ 歴史のとらえ方 ア ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	オセアニア州について、「アジア州との結び付き」の学習テーマを基に地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 年代の表し方や時代区分についての基本的なことがらや、大きな時代の移り変わりを理解している。	単元小テスト ノートの記述 レポート課題
	11 月	第2章 古代までの日本 第1節 世界の古代文明と宗教のおこり 第2節 日本列島の誕生と大陸との交流	世界の古代文明や宗教が生まれたこと、また、日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解する。 国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとの関わり、古墳の広まり、大和政権の統一を通して捉える。	古代までの日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	古代文明や宗教が生まれたことに加え、古代の人々の生活の変化を理解している。 縄文時代と弥生時代の違いについて考察し、その過程や結果を適切に表現している。	定期考査 単元小テスト ノートの記述 レポート課題
	12 月	第3節 古代国家の歩みと東アジア世界	大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開されたことを、厩戸皇子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至る過程、摂関政治を通して理解する。	古代までの日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	厩戸皇子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程など、国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開されたことを理解する。	単元小テスト ノートの記述 レポート課題

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 社会科】 担当：崎 涼太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	歴史 第3章 中世の日本 第2節 東アジアとの関りと 社会の変動	平安時代の社会から生まれた武士が、次第 に力をつけ、鎌倉幕府が成立するに至る経 緯のあらましを理解する。	中世の日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	武士が台頭し、武家政権が成立して、武士の支配が 次第に全国に広まり武家政権が発展していったこと を理解している。	単元小テスト レポート課題 ノート（プリ ント）の記述 調べ学習 レポート課題
	2 月	歴史 第3章 中世の日本 第2節 東アジアとの関りと 社会の変動	モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的 役割など、この時代に東アジア世界と密接 な関りが見られたことや、それが国内の政 治に影響を及ぼしたことを理解する。	中世の日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	モンゴルの襲来や日明貿易が日本の政治や社会に与 えた影響について、多面的・多角的に考察してい る。	単元小テスト ノートの記述 レポート課題
	3 月	歴史 第4章 近世の日本 第1節 ヨーロッパ人との出 会いと全国統一	織田信長と豊臣秀吉、および江戸幕府の諸 政策を通して、新しい安定した社会が生ま れ、その社会が長く続いたことを理解す る。	中世の日本 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	織田信長と豊臣秀吉が全国統一を行った過程や支配 の特色について理解し、その知識を身に付けてい る。	定期考査 単元小テスト ノートの記述 レポート課題

令和6年度 年間指導計画・評価計画

【1年 数学科】

担当：倉澤侑・三津間響己

指導の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	0章 算数から数学へ 1 整数の性質	①九九表の数の並びから、いろいろな決まりを見だし、説明することができる。 ②自然数をいくつかの数の積で表すことよきや素因数分解の意味を理解する。 ③素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。	内容の取扱い (1)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。 ◇素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 ☆自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だし表現することができる。 ○自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だそうとしている。	授業観察 自己評価シート 自己分析シート レポート提出 問題集提出 単元確認テスト 定期考査
	5 月	1章 数の世界をひろげよう [正負の数] 1節 正負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法 4節 正負の数の利用	①正の数と負の数の必要性和意味を理解することができる。 ②小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の意味を理解することができる。 ③正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ④具体的な場面で正の数と負の数の用いて表したり処理したりすることができる。 ⑤数の集合の広がりや四則計算の可能性に関連付けて理解することができる。	A数と式(1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇正の数と負の数の必要性和意味を理解している。 ◇正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ◇具体的な場面で正の数と負の数の用いて表したり処理したりすることができる。 ☆算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の計算方法を考察し表現することができる。 ☆正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 ○正の数と負の数のよきに気付いて粘り強く考え、正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
		2章 数学のことは身に つけよう 1節 文字を使った式 2節 文字式の計算 3節 文字式の利用	①文字を用いることの必要性和意味を理解することができる。 ②文字を用いた式における乗法と除法の表し方を理解することができる。 ③1次式と数の乗法及び1次式を数でわる除法や、簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。 ④数量の関係を文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすることができる。	A数と式(2) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) ア(エ) イ(ア)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇文字を用いることの必要性和意味を理解している。 ◇文字を用いた式で乗法や除法の表し方を知っている。 ◇簡単な一次式の加法と減法の計算ができる。 ◇数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ◇数量の関係や法則などを文字を用いた式を用いて表したり読み取ったりすることができる。 ◇数量の関係や法則などを式を用いて表したり読み取ったりすることができる。 ☆具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ○文字を用いることのよきに気付いて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
		3章 未知の数の求め方を 考えよう 1節 方程式とその解き方	①方程式や不等式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解することができる。 ②等式の性質を基にして、方程式が解けることを理解することができる。 ③簡単な1元1次方程式や比例式を解くことができる。	A数と式(3) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 ◇簡単な一元一次方程式を解くことができる。 ☆等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ○一元一次方程式のよきに気付いて粘り強く考え、一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	6 月						
	7 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画

【1年 数学科】

担当：倉澤侑・三津間響己

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	3章 未知の数の求め方を 考えよう 2節 1次方程式の利用	①1元1次方程式を具体的な場面で活用することができる。	A数と式(3) イ(イ)	☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	☆一元一次方程式を具体的な場面で活用できる。 ○一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生 かそうとしたり、一元一次方程式を活用した問題解決の 過程を振り返って検討しようとしたりしている。	授業観察 自己評価シート 自己分析シート プリント提出 問題集提出 単元確認テスト 学習調整テスト 定期考査
		4章 数量の関係を調べて 問題を解決しよう [比例と反比例] 1節 関数と比例・反比例 2節 比例の性質と調べ方 3節 反比例の性質と調べ 方 4節 比例と反比例の利用	①関数関係の意味を理解することができる。 ②比例、反比例の意味を理解することができる。 ③座標の意味を理解することができる。 ④比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それら の特徴を理解することができる。 ⑤比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえ説明す ることができる。	C関数(1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) ア(エ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇関数関係の意味を理解している。 ◇比例、反比例について理解している。 ◇座標の意味を理解している。 ◇比例、反比例を表、式、グラフに表すことができる。 ☆比例、反比例として捉えられる二つの数量について、 表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応 の特徴を見いだすことができる。 ☆比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現 することができる。 ○比例、反比例のよさに気付いて粘り強く考え、比例、 反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しよ うとしたりしている。	
	10 月	5章 平面図形の見方を 広げよう [平面図形] 1節 図形の移動 2節 基本的作図 3節 おうぎ形	①直線や角、円などに関する平面図形の基本的な性質 や用語・記号について理解することができる。 ②平行移動、回転移動及び対称移動について理解し、 2つの図形の関係について調べることができる。 ③角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基 本的な作図の方法を理解し、それを具体的な場面で活 用することができる。 ④扇形の弧の長さや面積を求めることができる。	B図形(1) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ) イ(ウ) B図形(2) ア(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇平行移動、対称移動及び回転移動を理解している。 ◇角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本 的な作図の方法を理解している。 ☆図形の性質に着目し、基本的な作図の方法や二つの図 形の関係についてを考察し表現することができる。 ☆図形の移動に着目し、考察し表現することができる。 ☆基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用す ることができる。 ○平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて 粘り強く考え、平面図形について学んだことを生活や学 習に生かそうとし、作図や図形の移動を活用した問題解 決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。	
	11 月	6章 立体の見方を広げよう [空間図形] 1節 いろいろな立体 2節 立体の見方と調べ方 3節 立体の体積と表面積	①基本的な立体の特徴や、空間における直線や平面の 位置関係について理解することができる。 ②空間図形を直線や平面図形の運動によって構成され るものととらえたり、空間図形を平面上に表現して平 面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりするこ とができる。 ③扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐体及 び球の表面積と体積を求めることができる。	B図形(2) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇空間における直線や平面の位置関係を知っている。 ◇扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表 面積と体積を求めることができる。 ☆空間図形を直線や平面図形の運動によって構成され るものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して空間図 形の性質を見いだしたりすることができる。 ☆立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現するこ とができる。 ○空間図形の性質や関係を捉えることのよさに気付いて 粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学 習に生かそうとしたり、空間図形の性質や関係を活用し た問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりして いる。	
	12 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画

【1年 数学科】

担当：倉澤侑・三津間響己

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	7章 データを活用して判断しよう 1節 データの整理と分析 2節 データの活用 3節 ことがらの起こりやすさ	①ヒストグラムや代表値、相対度数などの必要性和意味を理解する。 ②ヒストグラムや代表値などを用いて資料の傾向をとらえ説明することができる。 ③誤差の意味や範囲及び近似値の意味や表し方について理解することができる。 ④多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解する。 ⑤不確定な事象の起こりやすさを、その事象の起こる割合や試行の回数から考察し、起こりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。	Dデータの活用(1) ア(ア) ア(イ) イ(ア) Dデータの活用(2) ア(ア) イ(ア)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。 ☆多数の観察や試行の結果を基にして不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現することができる。 ○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気付いて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。	授業観察 自己評価シート 自己分析シート プリント提出 問題集提出 単元確認テスト 学習調整テスト 定期考査
	2 月	復習演習 総合演習 発展学習 A 数と式 B 図形 C 関数 D データの活用	①具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりして、問題解決に活用することができる。 ②数量の関係や法則などを文字を用いて式に表したり読み取ったりすることができる。 ③一元一次方程式を具体的な場面で活用し、問題を解決することができる。 ④基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用することができる。 ⑤具体的な場面で空間における直線や平面の位置関係を考察することができる。 ⑥扇形の弧の長さや面積、立体図形の表面積や体積を求めることができる。 ⑦比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 ⑧比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ⑨目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ⑩多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	A数と式(1) ア(イ)(ウ) イ(イ) A数と式(2) ア (イ)(ウ)(エ) イ(ア) A数と式(3) ア(イ)イ(イ) B図形(1) ア(ア)(イ) イ(ウ) B図形(2) ア(イ)イ(イ) C関数(1) ア(イ)イ(イ) Dデータの活用(1) イ(ア) Dデータの活用(2) イ(ア)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇基礎的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 ☆数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考査したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察することができる。 ☆図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察することができる。 ☆数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察することができる。 ☆データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察することができる。 ☆数学の事象や日常的な事象から見通しをもって問題を見だし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察することができる。 ○数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたりしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉えようとしたりしている。 ○数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合おうとしたりしている。	
	3 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 理科】 担当：村田・杉本

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	単元2 物質のすがた 1章 いろいろな物質	身のまわりの物質の性質を様々な方法で調べる実験を行い、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。	◆1分野(2)ア(ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	身のまわりの物質とその性質についての概念等を理解し、観察、実験の基本操作を身に付けている。 物質のすがたや性質における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。 物質のすがたに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもって振り返るなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		オリエンテーション 単元1 生物の世界 1章 身近な生物の観察	校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見いだして理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。	◆2分野(1)ア(ア) ⑦, イ		いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察、生物の特徴と分類の仕方についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。	
	5 月	単元2 物質のすがた 2章 気体の発生と性質	気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や収集法などの技能を身に付ける。	◆1分野(2)ア(ア) ④, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	気体の発生と性質についての概念等を理解し、科学的に探求するために必要な技能を身に付けている。 気体の発生と性質について、実験などを行い、規則性を見いだしているなど、科学的に探求している。 気体の発生と性質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、生物の観察と分類の仕方についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元1 生物の世界 1章 身近な生物の観察 2章 植物のなかま	色々な生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとにして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付ける。	◆2分野(1)ア(ア) ④, イ ◆2分野(1)ア(イ) ⑦, イ			
	6 月	単元2 物質のすがた 3章 物質の状態変化	物質の状態変化についての観察、実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。 物質は融点や沸点を境に状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解する。	◆1分野(2)ア(ウ) ⑦, イ ◆1分野(2)ア(ウ) ④, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	状態変化と熱、物質の融点と沸点についての概念を理解し、基本的な実験技能を身に付けている。 状態変化について、実験などを行い、規則性を見いだしているなど、科学的に探求している。 物質の状態変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元1 生物の世界 2章 植物のなかま	身近な植物の観察を行い、共通点や相違点があることを見いだす。花のつくりを中心に、種子植物が被子植物と裸子植物に分類できることを理解する。	◆2分野(1)ア(イ) ⑦, イ		植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	
	7 月	単元2 物質のすがた 4章 水溶液	水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けて理解する。	◆1分野(2)ア(イ) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	身のまわりの水溶液とその性質についての概念等を理解し、観察、実験の基本操作を身に付けている。 水溶液について問題を見だし、物質の性質における規則性を表現するなど、科学的に探求している。 水溶液に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元1 生物の世界 2章 植物のなかま	花のつくりを中心に、種子植物が被子植物と裸子植物に分類できることや、胚珠が種子になることを理解する	◆2分野(1)ア(イ) ⑦, イ		植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 理科】 担当：村田・杉本

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法	
2 学 期	9 月	オリエンテーション 単元4 大地の変化 1章 火山	火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解する。 火成岩の観察を行い、組織の違いを成因と関連付けて理解する。	◆2分野(2)ア（ア） ⑦、イ ◆2分野(2)ア（ウ） ⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	火山活動や火成岩と地球内部の動きについての基本的な概念や原理などを理解している。 マグマの性質と火山の形との関連性などを見いだして表現しているなど、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元1 生物の世界 2章 植物のなかま	被子植物が単子葉類と双子葉類に分類できることを理解し、それぞれの特徴から実際に分類を行う。	◆2分野(1)ア（イ） ⑦、イ		植物の体に関する観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだしている。	
	10 月	オリエンテーション 単元4 大地の変化 1章 火山	火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解する。 火成岩の観察を行い、組織の違いを成因と関連付けて理解する。	◆2分野(2)ア（ア） ⑦、イ ◆2分野(2)ア（ウ） ⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	火山活動や火成岩と地球内部の動きについての基本的な概念や原理などを理解している。 マグマの性質と火山の形との関連性などを見いだして表現しているなど、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元1 生物の世界 2章 植物のなかま	種子をつくらない植物が胞子をつくることを理解する。 植物の共通点や相違点に基づいて植物が分類できることを見いだして理解する。	◆2分野(1)ア（イ） ⑦、イ		植物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	
	11 月	単元4 大地の変化 2章 地震	地震の体験や記録をもとに、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付く。	◆2分野(2)ア（エ） ⑦、イ ◆2分野(2)ア（ウ） ⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	地震の揺れの大きさや伝わり方の規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。 地震に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元1 生物の世界 3章 動物のなかま	身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだす。	◆2分野(1)ア（イ） ⑦、イ		いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。	
12 月	単元4 大地の変化 3章 地層 4章 大地の変動	火山や地震の原因を地球内部の働きと関連付けて理解し、大地の変動の様子を理解する。 自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解する。	◆2分野(2)ア（イ） ⑦、イ ◆2分野(2)ア（ウ） ⑦、イ ◆2分野(2)ア（エ） ⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	大地の変動と地球内部の働きについての基本的な概念や原理などを理解している。 大地の変動や自然の恵みと災害について、見通しをもって問題を見いだし実験などを行っている。 大地の変動や自然の恵みと災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査	
	単元1 生物の世界 3章 動物のなかま	これまでに学習してきた動植物の分類を活用して、自分だけの生物図鑑をつくり、いろいろな生物の共通点によって図鑑が整理されていることを理解する。	◆2分野(1)ア（イ） ⑦、イ		いろいろな生物の共通点と相違点に基づいて、動物を分類するための観点や基準を見いだして科学的に探究しようとしている。		

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 理科】 担当：村田・杉本

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1月 単元3 身近な物理現象 1章 光の性質	光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだして理解する。	◆1分野(1)ア (ア) ⑦, イ ◆1分野(1)ア (ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	光に関する事物・現象を日常生活と関連付けながら、基本的な概念や原理などを理解している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	単元3 身近な物理現象 2章 音の性質	音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ空気中などを伝わること及び音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いだして理解する。	◆1分野(1)ア (ア) ⑦, イ		音に関する事物・現象を日常生活と関連付けながら、基本的な概念や原理などを理解している。実験から、音の性質の規則性や関連性を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。	
	2月 単元3 身近な物理現象 1章 光の性質	光の屈折において、全反射が起こることを見いだして理解し、入射角と屈折角の定性的な関係を知る。また、白色光はプリズムなどによっていろいろな光に分かれることについて知る	◆1分野(1)ア (ア) ⑦, イ ◆1分野(1)ア (ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	光の反射や屈折などの規則性や関連性を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	単元3 身近な物理現象 3章 力のはたらき	物体に力を働かせる実験を行い、物体に力が働くとその物体が変形したり動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見いだして理解するとともに、力は大きさと向きによって表されることを知る。	◆1分野(1)ア (イ) ⑦, イ		力の働きに関する事物・現象を日常生活と関連付けながら、基本的な概念や原理などを理解している。力の働きについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行っている。	
	3月 単元3 身近な物理現象 1章 光の性質	凸レンズの働きについての実験を行い、実像や虚像のでき方との関係を理解する。	◆1分野(1)ア (ア) ⑦, イ ◆1分野(1)ア (ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	光に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	単元3 身近な物理現象 3章 力のはたらき	力の単位として「ニュートン」を用いること及び重さと質量の違いについて知る。物体に働く2力についての実験を行い、力がつり合うときの条件を見いだして理解する。	◆1分野(1)ア (イ) ⑦, イ		実験から、力の働きの規則性や関連性を見いだして表現しているなど、科学的に探求している。2力のつり合いについて、課題を設定し、見通しをもって実験を行い主体的に調べようとしている。	

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名【教材名】	題材のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	曲にふさわしい表現を工夫しよう 『Forever』 喜多見中学校校歌 『一千億光年』	曲想と諸要素とのかかわりを感じ歌唱表現を工夫しよう 曲のイメージにふさわしい表現を工夫しよう	歌唱-ア・イ・ウ	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみ主体的・協働的に学習に取り組もうとし	観察 プリント
	5 月	音楽と諸要素と曲想のかかわり A. Vivaldi【春 第一楽章】 『浜辺の歌』	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 歌詞の内容や曲の雰囲気大切に、日本の歌を歌う。	鑑賞-ア・イ 歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 知識・技能 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し曲に対する評価と根拠を考え、よさや美しさを味わって聴いている。 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみ主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 リズム、旋律、強弱、形式を知覚しどのように歌うかについて思いや意図をもっている。	観察 プリント 実技テスト
	6 月	リズムと音符の関わり 曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわり 合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	(音楽の諸要素の理解を含めた) アレンジ創作をしよう 声部の役割を利器し、旋律の流れを意識して歌唱表現しよう	創作-ア・イ 歌唱-ア・イ・ウ	思考・判断・表現 知識・技能 主体的に学習に取り組む態度	音色、リズム、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図を思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、発音、身体の使い方など技能を身に付けている。 リズム、旋律、強弱、形式を知覚し曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図を持っている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容に関心を持ち、音楽活動に楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	プリント 観察 観察 プリント 定期考査
	7 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】					観察 プリント

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、歌唱表現を創意工夫して歌う。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら合わせて歌う技能を身に付けている。 速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。	観察 プリント
	1 0 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】 魔王	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 プリント
	1 1 月	日本とアジアの音楽 『日本の民謡』 『越天楽』	声の音色や響き及び言葉の特性と曲想に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	鑑賞-イ・ウ 歌唱-イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴と背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、音楽の多様性について理解している。 音楽の特徴と背景となる文化や歴史との関わり、音楽の多様性に関心をもち主体的・協働的に取り組もうとしている。	観察 プリント 定期考査
	1 2 月	『アジア地域の声の表現』	アジアの音楽の特徴を感じ取って鑑賞しよう。	鑑賞-イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴と背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、音楽の多様性について理解している。 音楽の特徴と背景となる文化や歴史との関わり、音楽の多様性に関心をもち主体的・協働的に取り組もうとしている。	観察 プリント

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	平調「越天楽」箏曲「六段の調」 箏 【さくらさくら】	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	鑑賞-ア・イ 器楽-ア・イ・ウ 歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 音色、速度、旋律、構成を知覚し、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方、合わせて演奏する技能を身に付けている。 音色、旋律を知覚し、どのように演奏するかについて思いや意図を持っている。	観察 プリント 実技試験 観察 プリント
	2・3 月	ギター 【LESSON 1】 『メリーさんの羊』 『Happy Birthday』 国歌【君が代】 卒業式式歌【曲目未定】 歌唱実技試験	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	器楽-イ 歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色や響きの関わりについて理解している。 創意工夫を生かして演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら演奏している。 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 楽器の構造や奏法、音色や響き、よさに関心を持ち楽しみながら主体的・協働的に取り組んでいる。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 リズム、旋律、強弱、形式を知覚しどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 プリント 観察 プリント 実技試験

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	オリエンテーション 「これは売れそう！？○○ドーナツ」 「鉛筆で描こう」 鉛筆の表現について知る グレースケール制作	○一年間の学習の流れを把握できるようにする。 ○私たちの生きる社会で美術がどんな役割をしているかドーナツの期間限定商品のデザインを通して考えることができるようにする。 ○ハッチングや鉛筆の持ち方、色の重なり、力の強さを工夫して6段階のグレートーンを描けるようにする。	A表現(1)-イ-(イ) A表現(2)-ア-(ア)(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・生活の中にある美術の役割を考え、誰かが喜んでくれる季節に合ったドーナツを色や形の工夫をしてデザインすることができる。 ・鉛筆の使い方を理解し、トーンに応じて鉛筆の使い方を工夫し、色を塗り分けることができる。	プリント評価 授業観察
	5 月	「見つめると見えてくるもの」 右脳で描こう 手のデッサン 作品相互鑑賞	○垂直水平を基準にしてモチーフのアウトラインの線の傾きやカーブの形に注目し、形をとらえ、鉛筆の使い方を工夫して描くことができるようにする。 ○鉛筆による表現の特性をもとに濃さを工夫してモチーフの印象をとらえることができるようにする。 ○友人の作品を鑑賞し、鉛筆の使い方や鉛筆の濃さの工夫を見つけ、自分の作品を振り返ることができるようにする。 ○鉛筆の表現に関心を持ち、意欲的に制作に取り組むことができるようにする。	A表現(2)-ア-(ア)(イ) 共通事項(1)-アイ B鑑賞(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・垂直水平を基準にして形をとらえ、鉛筆の使い方を工夫して描くことができる。 ・鉛筆の濃さに変化を付け、モチーフの印象をとらえて描くことができる。 ・友人の作品から造形的な良さや美しさを感じ取り、具体的に工夫点を見つけることができる。 ・鉛筆での表現に関心を持ち、意欲的に制作に取り組み、鑑賞を通して自分の作品を振り返り次時への課題意識につなげることができる。	授業観察 プリント評価 作品評価 自己評価
	6 月	「色彩の基本・仕組み」 色の三要素（明度・彩度・色相） 三原色 12色相環制作	○色の三原色に着目し、色の関係性をとらえることができるようにする。 ○有彩色に無彩色を段階的に加えることで色の彩度が変化することが理解できるようにする。 ○色の知識や制作手順を理解しやすいようにプレゼンテーションや動画をを用い、主体的に学習に取り組めるようにする。	A表現(2)-ア(ア)(イ) 共通事項(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・12色相を制作し、色の関係を理解するとともに無彩色を混ぜることで彩度が変わることが理解できる。 ・絵の具と筆の使い方と水分量の調整を適切に行い12色相環を仕上げることができる。 ・意欲的に制作に取り組み、色の基本・仕組みを理解しようとしている。	授業観察 作品評価 自己評価
	7 月	「色がつたえるもの」 色の感じ (暖色・寒色、軽い・重い) 相互鑑賞 定期考査	○暖かさや冷たさ、軽さや重さを感じられる色があることに着目し、絵具など用具の扱い方を工夫して見通しを持ってモデルを塗り分けられるようにする。 ○身近なものの色を想起して、様々な感じ方があることに気づき、どのような色の組み合わせが主題にかなっているか構想を練り、表現することができるようにする。 ○身近なものの色や役割に関心を持ち、自分の考えを意欲的に表現しようとするができるようにする。	A表現(1)イ(イ) A表現(2)-ア(ア)(イ) 共通事項(1)-ア B鑑賞(1)-ア-(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・暖色と寒色について自分の感じをもとに色を決め、絵具や筆、水加減を工夫し見通しを持って作品を仕上げるができる。 ・軽い色・重い色のモデルを塗り分けることで色によって感じ方が違うことが理解できる。 ・身近なものの色から色の感じ方に気づき、絵の具と筆の使い方と水分量の調整を適切に行い作品を仕上げるができる。 ・意欲的に制作に取り組み、色の基本・仕組みを理解しようとしている。	授業観察 作品評価 プリント評価 自己評価

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	「文字の基本」 レタリング（明朝体・ゴシック 体） 「文字っておもしろい」 ～デザイン絵文字～ 作品の構想を練る アイディアスケッチ	○明朝体・ゴシック体の文字の形の特徴を捉え 描くことができるようにする。 ○文字や文字が意味するものの形や色彩に注目 し、伝達するイメージをとらえ、絵の具などを 工夫して見通しを持って表すことができるよう にする。 ○文字の意味やイメージ、伝える場面をもと に、わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、 構想を練ることができるようにする。	A表現(2)ア-(ア)(イ) B鑑賞-(1)-イ-(ア) A表現(1)-イ- (ア)(イ) 共通事項(1)-アイ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	・文字の特徴に注目し、バランスや配置の工夫を 考え、明朝体・ゴシック体を描くことができる。 ・教科書や参考作品を鑑賞し、文字の意味から形 と色の工夫に気づき、文字のデザインについて考 えを深めることができる。 ・文字の意味やイメージ、伝える場面をもとに主 題を設定し、わかりやすさと色や形色彩などの工 夫を考え、構想を練ることができる。	プリント評価 授業観察 アイディアス ケッチ 自己評価
	1 0 月	「文字っておもしろい」 ～デザイン絵文字～ 作品制作	○文字や文字が意味するものの形や色彩に注目 し、伝達するイメージをとらえ、絵の具などを 工夫して見通しを持って表すことができるよう にする。 ○文字の意味やイメージ、伝える場面をもと に、わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、 構想を練ることができるようにする。 ○意味や美しさなどを考えて文字をデザインす ることに興味を持ち、意欲的に取り組むことが できるようにする。	A表現(1)-イ- (ア)(イ) A表現(2)ア-(ア)(イ) 共通事項(1)-アイ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	・設定した主題を表すために、的確な造形的な視 点を持ち、絵の具の濃さや用具の使い方を工夫 し、見通しを持って制作することができる。 ・文字をデザインすることに関心を持ち、意欲的 に取り組むことができる。	授業観察 作品評価 自己評価
	1 1 月	「文字っておもしろい」 ～デザイン絵文字～ 作品制作 相互鑑賞 定期考査	○文字や文字が意味するものの形や色彩に注目 し、伝達するイメージをとらえ、絵の具などを 工夫して見通しを持って表すことができるよう にする。 ○文字の意味やイメージ、伝える場面をもと に、わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え、 構想を練ることができるようにする。 ○意味や美しさなどを考えて文字をデザインす ることに興味を持ち、意欲的に取り組むことが できるようにする。	A表現(2)ア-(ア)(イ) B鑑賞X4:AV30-(1)-イ- (ア) A表現(1)-イ- (ア)(イ) 共通事項(1)-アイ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	・作品が設定した主題を的確に表す表現になっ ているか再確認し、用具の使い方を工夫して仕上 げることができる。 ・文字をデザインすることに関心を持ち、意欲的 に取り組むことができる。 ・友人の作品を鑑賞し、作者の表現の意図に気づ き、良さや工夫点を感じることが出来る。 ・授業で学んだ知識や技能が定着できている。	授業観察 作品評価 プリント評価 自己評価 定期考査
	1 2 月	「暮らしの中の木の工芸」 ～木彫コースターづくり～ 木の道具鑑賞 木彫について	○木の道具を鑑賞し、木の特性や美しさを感じ 、使う人が使いやすい工夫に着目し、作者の 意図に気づくことができるようにする。 ○基本の木彫について学び、彫りの種類によっ て彫刻刀の使い方が変わること注目し、用具 を正しく使用し、制作できるようにする。 ○木の良さや使いやすさなどを生かして作るこ とに関心を持ち、意欲的に取り組むことができ るようにする。	B鑑賞(1)-イ- (ア)(イ) A表現(2)-ア- (ア)(イ)	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	・木の道具を鑑賞し、使いやすさや美しさを感じ 制作の工夫に着目し作者の意図に気づくことがで きる。 ・基本の彫りの種類について理解し、彫刻刀の使 用方法を工夫し、彫り進めることができる。	授業観察 作品評価 自己評価 プリント評価

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	「暮らしの中の木の工芸」 ～木彫コースターづくり～ 木彫について アイデアスケッチ 作品制作	○基本の木彫について学び、彫りの種類によつて彫刻刀の使い方が変わること注目し、用具を正しく使用し、制作できるようにする。 ○作品のアイデアスケッチを行う際に、道具としての使いやすさ美しさに注目し、彫りの種類によって制作方法を検討して制作の見通しを立てることができるようにする。 ○木の良さや使いやすさなどを生かして作ることに興味を持ち、意欲的に取り組むことができるようにする。	共通事項(1)-ア A表現(1)-イ-(ウ) A表現(2)-ア-(ア)(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・基本の彫りの種類について理解し、彫刻刀の使用方を工夫し、彫り進めることができる。 ・道具としての使いやすさや美しさに着目して構想し、デザインに合う彫りの種類を選択し、制作の見通しを立てることができる。 ・木の良さや使いやすさなどを生かして作ることに興味を持ち、意欲的に取り組むことができた。	プリント評価 授業観察 アイデアスケッチ 作品評価 自己評価
	2 月	「暮らしの中の木の工芸」 ～木彫コースターづくり～ 作品制作	○デザインをより良く表現できる木彫の種類を選択し、彫刻刀を正しく使って見通しを持って制作を進めることができるようにする。 ○木の特性やぬくもりに注目し、使う人の気持ちになって使いやすく美しく仕上がるように制作を進めることができるようにする。 ○木の特性や道具の使用法に関心を持ち、意欲的に丁寧に制作を進めることができるようにする。	A表現(2)-ア-(ア)(イ) 共通事項(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・デザインを表現するために効果的な彫りの種類や彫刻刀の使い方を工夫し、見通しを持って制作を進めることができる。 ・木の特性や彫刻刀の使い方注目し、より良く表現が生かせるように制作方法の見直しを行ないながら丁寧に制作を進めることができる。 ・木の特性や道具の使用法に関心を持ち、意欲的に丁寧に制作を進めることができる。	授業観察 作品評価 自己評価
	3 月	「暮らしの中の木の工芸」 ～木彫コースターづくり～ 作品制作 ニス塗り 作品相互鑑賞	○友人の作品を鑑賞し、使ってもらう相手に喜ばれる表現の工夫を見つけることができるようにする。 ○一年間の学習を振り返り、次年度の学習につなげることができるようにする。	B鑑賞(1)-イ-(ア)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・友人の作品から使う目的や機能との調和のとれた良さや美しさを感じ取り、用途と制作の工夫点について考え方や感じ方を深めることができる。 ・一年間の学習から生活を豊かにする美術の働きについて考えることができる。	授業観察 作品評価 自己評価 プリント評価

令和6年度 年間指導計画・評価計画【1年 保健体育科】担当：安達敬江・村上正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	A 体づくり運動 授業についてのオリエンテーション (集団行動・方向転換・ラジオ体操)	(1) 一定の集団がひとまとまりになり、行動するときの基本動作のきまりや、方向転換、集合・整とん、列の増減、行進などができるようにする。 (2) きまりを理解し、能率よく行動できるようにする。 (3) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができるようにする。 (4) 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 (5) 体づくり運動の意義と行い方などを理解し課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 体ほぐし運動 イ. 体力を高める運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとしている。 ・自分の体力や目的にあった運動を選び、組み合わせることができる。 ・体ほぐしの運動……心と体は互いに影響し変化することに気づき、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うことができる。 ・体力を高める運動……ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことができる。 ・体づくり運動の意義とその行い方を知っている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
	5 月・ 6 月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 短距離走 リレー	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に応じた目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができる。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
	7 月	D 水泳	(1) 水泳の運動について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、泳法を身につけるようにする。 (2) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. クロール イ. 平泳ぎ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・続けて長く泳ぐ、速く泳いだり競争したりする水泳の楽しさや喜びを味わおうとし、技能を高めることができる。 ・目標を達成するための課題に対し、創意・工夫・思考することをしている。 ・水泳の事故防止の心得や安全な行動のしかたを理解し、知識をもっている。また、それに準じた行動ができる。 ・水泳の特性に応じた技能を練習で身につけ、技術の名称、運動のポイントなどを理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画【1年 保健体育科】担当：安達敬江・村上正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 ・ 10 月	E 球技 (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ネット型 「バレーボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ 作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ 用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・ 練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ ルールや審判のしかたを理解している。 ・ 作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・ 授業観察 ・ 発言内容 ・ 学習カード ・ 実技テスト ・ 振り返りカード ・ 期末考査
		B 器械運動 (1) 器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がより良くなるようにする。 (2) 器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. マット運動 エ. 跳び箱運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ 技がよくできたり、自分に適したレベルの技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ 施設、用具の安全や、安全な行動に留意している。 ・ 課題に応じた運動の取り組み方を創意・工夫・思考している。 ・ 基本的な技を滑らかに行うことができる。 ・ 器械運動の特性や成り立ち、技の名称や体の使い方を理解している。	・ 授業観察 ・ 発言内容 ・ 学習カード ・ 実技テスト ・ 振り返りカード ・ 期末考査
		C 陸上競技 (1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ハードル走 走り高跳び	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ 全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ 互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・ 自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができる。 ・ 技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・ 特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・ 授業観察 ・ 発言内容 ・ 学習カード ・ 実技テスト ・ 振り返りカード ・ 期末考査
	11 ・ 12 月	E 球技 (1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. ゴール型 「ハンドボール」 又は、 「サッカー」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ 作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ 用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・ 練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ ルールや審判のしかたを理解している。 ・ 作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・ 授業観察 ・ 発言内容 ・ 学習カード ・ 実技テスト ・ 振り返りカード ・ 期末考査
		E 球技 (1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ゴール型 「バスケットボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ 作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ 用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・ 練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ ルールや審判のしかたを理解している。 ・ 作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・ 授業観察 ・ 発言内容 ・ 学習カード ・ 実技テスト ・ 振り返りカード ・ 期末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画【1年 保健体育科】担当：安達敬江・村上正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	長距離走	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができる。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 学年末考査
	2 月・ 3 月	G ダンス	(1) 感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。 (2) 互いに動きの良さを感じ方、表現の良さなどを認め合い、協力して練習したり、発表したり鑑賞できるようにする。 (3) ダンスの特性や学び方、鑑賞のポイントについて理解できるようにする。	ウ. 現代的なリズムのダンス	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、互いの良さを認め合おうとしたり、分担した役割を果たそうとしている。健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 ・ダンスを豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ・ダンスの特性に応じて、交流できるよう、イメージを捉えた表現や踊りをするための動きを身につけている。 ・ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 学年末考査
		F 武道	(1) 柔道の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる受け身や技ができるようにする。 (2) 柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 柔道	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・礼儀作法を重んじて、相手を尊重し、自分を律する態度をとろうとしている。 ・用具や会場の安全を確かめたり、受け身の技能を高め、禁じ技を用いないなど、安全に留意している。 ・自分に対しての課題を創意・工夫・思考している。 ・各種の練習を通して、段階的、系統的に技能を身につけている。 ・柔道の特性や基本動作、対人的な技術構造、学習の進め方を理解している。 ・礼儀作法や競技のルール、知識を身につけている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 学年末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画【1年 保健体育科】担当：安達敬江・村上正樹

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	指導の観点	指導の観点	評価規準	評価方法
保健・体育理論	1・2・3学期	体育理論	(1) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。 (2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。	・運動やスポーツの必要性和楽しさ ・運動やスポーツへのかわり方 ・運動やスポーツの多様な楽しみ方	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・各種の運動の特性と学び方や、安全の確保の仕方について関心を持ち学習に取り組んでいる。 ・運動の特性に応じた課題設定や解決の仕方を知っている。 ・運動の特性と学び方について理解している。	授業態度 発言内容 学習カード 学年末考査
		保健分野	(1) 心身の機能の発達と健康について理解できるようにする。 (2) 病気の発生要因や健康の成立要因について、自身の生活や環境と関連づけて考えることができるようにする。	・体の発育・発達 ・呼吸器・循環器の発達 ・生殖機能の成熟 ・性とどう向き合うか ・心の発達 ・健康の成り立ちと疾病の発生要因	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・心身の機能発達や心の健康などについて知識や経験等をもとに、課題をみつけることができる。 ・年齢に伴う身体の各器官の発達の傾向や性差、個人差があることを理解し、知識を身につけている。 ・病気の主体の要因と環境の要因について理解し、健康の成り立ちについて、説明することができる。	授業態度 発言内容 学習カード 期末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期		ガイダンス ・学習の見通し ・授業の約束ごとを確かめる					
	4 月	材料と加工の技術 ・材料と加工の技術を見つけよう ・材料の特性を調べよう ・問題を解決する工夫を考えよう	材料と加工の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技術を身に付け、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活の現実や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	A (1) アイ	知識・理解 主体的に学習に取り組む態度 知識・理解 思考・判断・表現 思考・判断・表現	・主要な材料や加工の特性等の原理・法則を理解している。 ・進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技術を身に付けようとしている。 ・技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ・練習作品の製作を通して、材料の製造や加工方法等の基礎的な技術の仕組みを理解している。 ・練習作品の製作を通して、実習の安全な作業の進め方を身に付けている。	ワークシート 定期テスト ワークシート ワークシート 定期テスト 観察 定期テスト ワークシート 定期テスト
	5 月						
	6 月						
	7 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	材料と加工の技術 ・つくってみよう 「小物入れ作品」 ・設計のしかたを知ろう ・図や表を読み取ろう ・設計に沿った製作をしよう	材料と加工の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技術を身に付け、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活の現実や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	A（2）アイ	知識・技能 思考・判断・表現 思考・判断・表現 知識・理解 主体的に学習に取り組む態度 主体的に学習に取り組む態度	・設計の考え方や手順を理解している。 ・材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、生活の中から問題を見いだして課題を設定している。 ・課題を解決するために、条件を踏まえて適切な材料や加工法を選択し、構想を具体化して設計や計画をまとめている。 ・製作に必要な図をキャビネット図および等角図、正投影図でかき表すことができる。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造し、他者の新しい考え方も知的財産として尊重し、またそれらを保護・活用しようとしている。 ・自ら問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。	ワークシート ワークシート 定期テスト ワークシート 定期テスト ワークシート 定期テスト ワークシート ワークシート
	10 月						
	11 月						
	12 月	材料と加工の技術 ・社会の発展と材料と加工の技術		A（3）アイ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・材料と加工の技術、生活や社会に果たす役割や影響について理解している。 ・より安全な生活や社会の現実に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な技術の在り方について考えている。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していこうとしている。	ワークシート 定期テスト ワークシート 定期テスト ワークシート

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	情報に関する技術 「ソフトウェアの活用」 ・情報とわたしたちの生活 ・情報通信ネットワークの利用 ・デジタル作品の設計と製作 ・個人情報と人権の配慮	情報の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技術を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や地域社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	D（1）アイ	知識・技能	・情報の技術に関する科学的な原理・法則を理解している。	定期テスト
					思考・判断・表現	・技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	ワークシート 定期テスト
					主体的に学習に取り組む態度	・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技術を身に付けようとしている。	ワークシート
	2 月	・個人情報と人権の配慮 ・情報に関する技術の評価・活用			知識・技能	・安全・適切なプログラムの製作方法や、動作の確認等の基礎的な仕組みを理解している。	ワークシート 定期テスト
	3 月				知識・技能	・実習の安全の進め方を身に付けている。	ワークシート

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 家庭科】 担当：林 歩美

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	ガイダンス 中学生と 家庭分野 A 家族・家庭生活 2 私の生活と家族・ 家庭	・3年間の学習に見通しをも ち、自立と共生について考える ことで、家庭分野の学習への期 待と意欲がもてるようにする。 ・ 家庭での活動を考え、家族・家 庭の基本的な機能について理解 する。	A (1) ア	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・家庭科を学ぶ目標は自立と共生であ ることを理解する。 ・家 族・家庭の機能を再確認する。 ・自分の家族・家庭をふり 返り、家族新聞をつくる。	プリント 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	5 月	B 衣食住の生活 衣 生活 1 日常着の手入れと 保管	製作の基礎・基本の習得に主体 的に取り組む。	B (4) イ	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・基礎縫いの復習、学習をする。(な み縫い、本返し縫い、まつり縫い、ボ タン付け、スナップ付け) ・安全に注意し てできる。	プリント 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	6 月						
	7 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 家庭科】 担当：林 歩美

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2学期	9月	B 衣食住の生活 食生活 1 食事の役割と食習慣 2 中学生に必要な栄養を満たす食事	体に入った栄養素のゆくえを知る。中学生に必要な栄養素の特徴について理解する。食事摂取基準について知る。栄養素の種類とはたらきを理解する。	B (1) アイ (2) アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・中学生の時期の身体的特徴について関心をもって考える ・栄養素とその働きについて理解する。 ・食事摂取基準の意味と表の見方について理解している。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	10月						
	11月	B 衣食住の生活 衣生活 3生活を豊かにするものの製作	布を用いた小物の製作（袋）	B (5) アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・ミシンを使って簡単な袋を縫う。 ・ステンシルの型紙を自分でデザインして製作し、袋にステンシルをする。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	12月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 家庭科】 担当：林 歩美

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	B 衣食住の生活 食生活 2 中学生に必要な栄養を満たす食事	体に入った栄養素の行方を知る。中学生に必要な栄養素の特徴について理解する。食事摂取基準について知る。栄養素の種類とはたらきを理解する。	B（1）アイ （2）アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・6つの食品群と栄養素の関係を理解する。 ・食品成分表の見方を理解する。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	2 月	3 さまざまな食品とその選択	生鮮食品、加工食品の特徴を理解する。情報を正確に読み取って判断し、選択できるようにする。	B（3）アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・食品が食卓にのぼるまでの流れを理解する。 ・生鮮食品、加工食品の特徴を理解し、目的に応じた選択・保存ができるようになる。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	3 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 英語】 担当：岡部宏子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月 オリエンテーション Unit0 Welcome to Junior High School 学び方コーナー① Unit1	○小学校で習った表現を使ったり、単語を 読んだり書き写したりすることができる。 ○英和辞書の見出し語配列について知り、 基本的な使い方を理解する。 ○自分がふだんよくすることや、できるこ とを伝えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取 り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○小学校で習った英語表現について理解している。 ○英和辞書の見出し語配列について知り、基本的な 使い方を理解している。 ○be動詞と一般動詞、助動詞canを用いた文の形・ 意味・用法を理解している。 ○名前や出身地、好きなものやできることなどにっ ていて、be動詞や一般動詞、助動詞canなどを用いる 技能を身につけている。 ○簡単な語句や文を用いてたずねたり答えたり、答 えようとしている。	行動観察 振り返りカー ド 教材
	5 月 Unit 2 Grammar for Communication 1 学び方コーナー② Unit 3	○身近な人やものについて紹介したり、た ずねたりすることができる。 ○be動詞と一般動詞を用いた文の形・意 味・用法を復習し、理解を確かめる。 ○いつ・どこなのかをたずねたり、数をた ずねたりすることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取 り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○This(That, He, She)is..., 疑問詞を用いた文の 用法を理解している。 ○おたがいのことをよりよく知るために、身近な人 やもの、普段の行動などについて、簡単な語句や文 を用いて情報を話したり、たずねたり答えたりして いる。 ○be動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を 理解し、身につけている。 ○How many ...? を用いた文の形・意味・用法を理 解している。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート 振り返りカー ド 教材
	6 月 Grammar for Communication 2 Unit 4 Grammar for Communication 3	○名詞の形・意味・用法を復習し、理解を 確かめる。 ○相手に指示したり、時刻や好きなものを たずねたりすることができる。 ○疑問詞を用いた文の形・意味・用法を復 習し、理解を確かめる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取 り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○名詞の形・意味・用法を理解している。 ○ものの数などに合わせて、名詞を正しい形で用い る技能を身につけている。 ○命令文や〈What+名詞 ...?〉の文の形・意味・用 法を理解している。 ○道案内をしたり、時刻や相手のことを知ったりす るために、簡単な語句や文を用いて即興で指示や助 言をしたり、たずねたり答えたりしている。 ○たずねたい内容に応じて、疑問詞を正しく使い分 ける技能を身につけている。	定期考査 小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート 振り返りカー ド 教材
	7 月 Unit 5 Stage Activity 1 “All about Me” Poster	○行った場所や、そこで楽しんだことなど について話すことができる。 ○自分の好きなことについて、つながりの ある文章を書くことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取 り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	○疑問詞を用いた文の形・意味・用法を理解してい る。 ○たずねたい内容に応じて、疑問詞を正しく使い分 ける技能を身につけている。 ○前置詞, like [enjoy] ...ing, be good at ... ing, 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を 理解している。 ○学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解して いる。	定期考査 小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート 振り返りカー ド 教材

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 英語】 担当：岡部宏子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	Small Talk! 1 Unit 6 Let's Talk 1 お願い 学び方コーナー③ Grammar for Communication 4	○自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 ○身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。 ○三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解している。 ○友達などのことをほかの人に知ってもらうために、趣味などについてインタビューしてわかったことを整理して、まとまりのあるスピーチをしたり紹介文を書いたりしている。 ○身近な人に許可を求める表現や依頼する表現の意味や働きを理解している。 ○自分がしたいことや相手に頼みたいことについて、身近な人に許可を求める表現や依頼する表現を用いて伝えたり、適切に答えたりすることができる。	定期考査 小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート 振り返りカード 教材
	1 0 月	Unit 7 Let's Talk 2 体調 Let's Listen 1 留学生のプロフィール Grammar for Communication 5	○自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものかをたずねたりすることができる。 ○相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。 ○人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。 ○代名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○代名詞や疑問詞which, whoseを用いた文の形・意味・用法を理解している。 ○人や文化、言葉や食べ物などについて知るために、人やものについての情報を聞いたり読んだりして整理し、簡単な語句や文を用いて、やり取りをした書いたりしている。 ○体調をたずねたり、体の不調を説明したりする表現の意味や働きを理解している。(SI) ○人を紹介する表現の意味や働きを理解している。 ○代名詞の形・意味・用法を理解している。	小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート 振り返りカード 教材
	1 1 月	Unit 8 Let's Write 1 学び方コーナー④ Grammar for Communication 6 Unit 9	○今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 ○目的に合わせたカードを書くことができる。 ○現在進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 ○したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○現在進行形を用いた文や感嘆文の形・意味・用法を理解している。 ○現在の状況を伝えるために、人が今していることや、感動や驚きの気持ちを伝え合ったり話したりしている。 ○グリーティングカードの基本的な構成や表現を理解している。 ○不定詞（名詞的用法）や〈look+形容詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。	定期考査 小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート 振り返りカード 教材
	1 2 月	Let's Talk 3 道案内 Let's Listen 2 欠席した友達への電話連絡 Stage Activity 2 Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji	○徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。 ○友達にあとで伝えるべき情報を聞き取ることができる。 ○好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。 ○図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○徒歩での道順をたずねたり、教えたりする表現の意味や働きを理解している。 ○伝えるべき情報を聞き取る方法を理解している。 ○Unit 9までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ○図や表などの情報をもとにした文章の読み方を理解している。	小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート 振り返りカード 教材

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【1年 英語】 担当：岡部宏子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	Small Talk! 2 Unit 10 Let's Write 2 旅先からの便り	○過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 ○旅先からの絵はがきを書くことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解し、それをもとに過去にしたことについて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ○最近の出来事や冬休みの思い出などを伝え合うために、過去にしたことについて、簡単な語句や文を用いてたずねたり答えたり書いたりしたり、しようとしている。 ○絵はがきの基本的な構成や表現を理解し、それをもとに、旅先からの絵はがきを書いたりする技能を身につけている。	小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート 振り返りカード 教材
	2 月	Unit 11 Let's Talk 4 レストラン Let's Listen 3 ラジオDJのトーク Grammar for Communication 7	○過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 ○レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。 ○過去形と過去進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○be動詞の過去形やThere is [are] …, 過去進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ○一年の思い出を伝えあったり町の紹介をしたりするために、過去の状態や気持ち、町の施設などについて、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりしている。 ○レストランなどで注文をしたり質問に答えたりする表現の意味や働きを理解している。 ○過去形と過去進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	定期考査 小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート 振り返りカード 教材
	3 月	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year Learning LITERATURE in English Let's Read 2 City Lights	○思い出に残った学校行事について発表することができる。 ○英語で書かれた文学作品を聞いて話の概要を捉え、物語の構成を理解することができる。 ○物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○Unit 11までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ○物語の文章構成を理解している。 ○文章構成の理解をもとに、物語のあらすじを開き取ったり読み取ったりする技能を身につけている。 ○時間の経過や場面の変化を捉えた読み方を理解している。	小テスト ワークシート パフォーマンス テスト 行動観察 ノート 振り返りカード 教材